



# 岡山市 就農サポート ガイドブック

～晴れの国で農業人になろう～

令和5年6月

岡山市就農サポートセンター

# I. 就農への道しるべ

就農に向けての主なステップは下記のとおりです。

岡山市での農業に興味を持たれたら、「岡山市就農サポートセンター」にぜひご相談ください。

## Step 1 事前準備

### ☑ チェックポイント

- 農業を始めようと思った理由について十分に整理できていますか？
- 体力に自信がありますか？
- 家族の理解と協力は得られますか？
- 田舎と都会の暮らしの生活面の違いに対応できますか？
- 就農地域の一員として溶け込むことができそうですか？



## Step 2 情報収集

### ☑ チェックポイント

- どんな作物を、どのような規模で、どのように栽培するか等、決めていますか？
- 農業経営スタイルの特色（リスクを含む）に関する理解は十分ですか？



## Step 3 技術習得

### ☑ チェックポイント

- ご自身が栽培を考える作物にかかる栽培技術は十分備わっていますか？



## Step 4 必要なものの手配

### ☑ チェックポイント

- 農地や住居の確保はできていますか？
- 生産資材、農業用機械・施設等にかかる資金の準備はできていますか？
- 経営が安定するまでの生活費等の準備はできていますか？
- 収支計画は無理のないものですか？



## 「岡山市就農サポートセンター」でできること

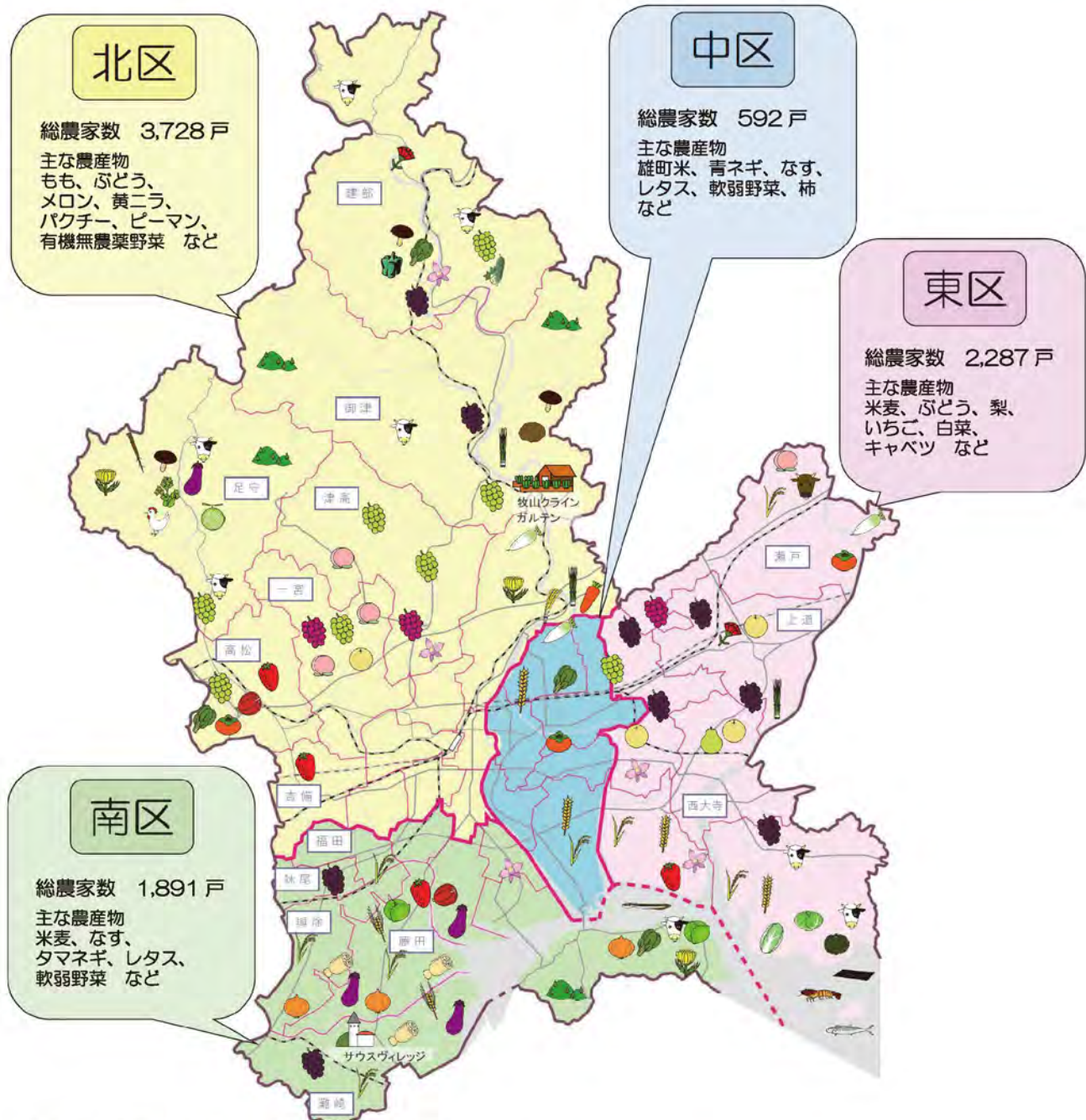
- ✓ 就農に向けた構想へのアドバイス
- ✓ 青年等就農計画の作成支援
- ✓ 研修のコーディネート（4ページへ）
- ✓ 各種補助金の活用支援（5ページへ） など

【岡山市就農サポートセンター TEL086-803-1347】



## II. 岡山市の農業 (1) 農林水産業マップ

岡山市では、南部の干拓地、中部の丘陵地、北部の吉備高原など、様々な地形と自然条件のもと、水稻、麦類をはじめ、白桃、マスカット、ピオーネなどの果樹栽培、なす、レタス、黄ニラなどの野菜栽培、切花などの花き栽培、乳用牛、採卵鶏などの畜産業といった多彩な農業が営まれています。全国的なトップブランドとして名を馳せるものも多くあります。



資料 総農家数：2020年農林業センサス



## Ⅱ. 岡山市の農業 (2) 代表的な作目

### 果樹



もも (白桃)



ピオーネ



シャインマスカット



マスカット・オブ・アレキサンドリア



紫苑 (じえん)



瀬戸ジャイアンツ

「くだもの王国岡山」と呼ばれるように、温暖な自然条件を活かし、多彩な果樹が盛んに栽培されています。特に、ももとぶどうは名実ともに岡山を代表する果物であり、全国から多数の引き合いがあります。

### 野菜



なす



黄二ラ



いちご



レタス



タマネギ



メロン

全国ブランドである「備南の千両なす」をはじめとして、数多くの品目の品質が市場から評価され、ブランド化が進んでいます。

また、農薬や化学肥料を一切使用しない「おかやま有機無農薬農産物」に認定された安全・安心・高品質の野菜として、桃太郎トマトをはじめ、ハウレンソウやダイコン他多彩な野菜が栽培されています。

### 米・麦



米

米は、市内全域で栽培され、主な品種に、朝日・アケボノ・ヒノヒカリ・雄町などがあります。

麦は、ビールの原料となる二条大麦や、「ふくほのか」という品種の小麦の栽培が主流です。



二条大麦

### 花き



洋蘭

洋蘭は、デンドロビウム、シンビジウム、コチョウラン、カトレアなど様々な種類が岡山市内で栽培されています。

ブレイラムは、フラワーアレンジメントや花束の添え花として使われる草花で、主に足守地区でメロンの間作として栽培されています。



ブレイラム

## Ⅲ. 就農に関する岡山市の支援制度 (1) 研修事業

農業経験がない場合、農業にかかる各種研修の受講をお勧めします。

### 新規就農希望者体験研修事業

岡山市オリジナル事業

対 象	岡山市内での就農を希望しておられる <b>65 歳以下の方</b>	
農業インターンシップ研修	概 要	実地での農業体験の機会を提供する研修。(下記3コース) ① ワンデイ・トライアルコース(1日) 農業に興味と不安をお持ちの方向けの入門的な研修 ② セレクト体験コース(10日以内) 体験したい作目の農作業の時期・期間・作業を選択しての研修 ③ 1サイクル体験コース(1暦年あたり15日以内) 実践的研修や実際の就農に向けて、就農希望作目の主な農作業1サイクルを体験する研修
	期 間	年間1～15日
先輩就農者インタビュー研修	概 要	就農から6～10年程度経過した方の経験談を、対談形式でお聴きいただく研修。
	期 間	1日(2時間程度)

### 就農促進トータルサポート事業

農業体験研修	概 要	就農を希望される地域で優れた経営を行っている農業者のもとで、1ヵ月程度、農作業や農村生活を体験し、地域や作物、農業について学ぶ研修です。
	対 象	岡山市内での就農を希望しておられる <b>54 歳以下の方</b> (農家出身の場合は、就農予定時の年齢が <b>49 歳以下の方</b> )
	研修費	研修修了後 <b>5 万円</b> ※公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団から支給。
	期 間	1ヵ月程度
	備 考	研修生の募集は <b>公募制</b> で、原則 <b>年2回</b> 。 研修の実施可否は、 <b>面接等による審査</b> の上、決定します。

農業実務研修	概 要	<b>農業体験研修後</b> 、独立・自営就農に向けた準備を進めるための実践的研修。 栽培技術や農業経営のノウハウを習得するだけでなく、地域にとけ込む機会となり、スムーズな農業経営の開始につなげていただけます。
	対 象	<b>農業体験研修を修了された方</b>
	研修費	<b>年間最大 150万円</b> ※就農予定時の年齢が <b>49 歳以下</b> である場合は、予算の範囲内で、国の新規就農者育成総合対策事業(就農準備資金)として交付。
	期 間	2年以内

※本事業は、岡山県、岡山市、及び農業関係団体等が共同で実施します。  
 ※予算状況等により研修生の募集が行われないことがあります。  
 ※その他詳細については、岡山市就農サポートセンターにお尋ねください。

### Ⅲ. 就農に関する岡山市の支援制度 (2) 主な補助事業

機械や施設、資材などの初期投資や、経営が安定するまでの資金繰りは、大きな負担になるものです。岡山市では、国の支援制度の活用や、市独自策である「新規就農者サポート事業補助金」の交付によって、皆さまの経営の安定化を後押しします。

#### 新規就農者育成総合対策事業 (経営発展支援事業、経営開始資金)

概 要	<p><b>①経営発展支援事業</b> 次世代を担う農業者となることについての強い意欲を有している独立・自営就農者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入にかかる事業費の4分の3以内の額を交付するもの。(補助対象事業費上限額は1,000万円(②も交付の場合は500万円))</p> <p><b>②経営開始資金</b> 次世代を担う農業者となることについての強い意欲を有している独立・自営就農者に対し、就農直後の経営確立の支援のため、交付期間1月につき1人あたり12.5万円(年150万円)の経営開始資金を最長3年間交付するもの。</p>
主 要 な 件	<p>○次に掲げる要件を満たす独立・自営就農をすること。(①、②)</p> <p>ア 青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者(就農時の年齢が原則<b>49歳以下</b>)であること。</p> <p>イ 農地の所有権又は利用権を有していること。</p> <p>ウ 主要な農業機械・施設を所有又は借りていること。</p> <p>エ 生産物や生産資材等を交付対象者の名義で出荷・取引すること。</p> <p>オ 売上や経費の支出などの経営収支を交付対象者名義の通帳及び帳簿で管理すること。</p> <p>カ 交付対象者が農業経営に関する主宰権を有していること。</p> <p>○実質化された人・農地プランに中心となる経営体として位置づけられ、若しくは位置付けられることが確実と見込まれること、又は<b>農地中間管理機構</b>から農地を借り受けていること。(①、②)</p> <p>○機械・施設の取得費用等について、金融機関から融資を受けること。(①)</p> <p>※ 資金の交付にはこの他にも要件があります。詳しくは、「岡山市就農サポートセンター」にお問い合わせください。</p>

#### 新規就農者サポート事業

岡山市オリジナル事業

概 要	主として岡山市内で農業を行う岡山県内在住の方に対し、就農初期の投資を支援します。
対 象	岡山市より青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者
補助対象 経 費	①経営発展支援事業、または、初期投資促進事業の採択を受けた農業用機械・施設・資材等取得、改良又はリース費、②老朽化ハウス撤去費、③農地賃料、④大型特殊・けん引免許取得費
補 助 率 (限度額)	<p>①対象事業費の1/8 (62.5万円、または125万円)</p> <p>②対象事業費の1/2、または3/4 (50万円、または75万円)</p> <p>③対象事業費の1/2 (3万円)</p> <p>④対象事業費の1/2 (5万円)</p> <p>※ 「岡山県外から岡山市内への移住を伴う新規就農かどうか」等の分類により、①及び②の補助率(限度額)や、①～④の重複受給の場合の受給上限額(62.5万円、または125万円)が異なります。詳しくは、「岡山市就農サポートセンター」にお問い合わせください。</p>

## IV. 【参考 1】 経営指標

### 主な農業施設や機械の価格と耐用年数（目安）

令和 5 年 4 月 3 0 日現在

施設・機械名	規模・規格	構造	価格 (万円)	耐用年数 (年)	使用する 主な品目
作業場	50 m <sup>2</sup>	鉄骨造	380	31	汎用
果樹棚	1,000 m <sup>2</sup>	コンクリート、鉄線	310	14	ぶどう等
灌水施設	1,000 m <sup>2</sup>	パイプ	64	8	
簡易被覆施設	1,000 m <sup>2</sup>	トンネルメッシュ	125	10	
パイプハウス	1,000 m <sup>2</sup>	鉄パイプ	1,682	14	いちご等
トラクター	1 台	25ps	299	7	汎用
乗用田植機	1 台	6 条	251	7	水稻
コンバイン	1 台	4 条刈	675	7	
動力噴霧器	1 台	動噴・タンク・ホース等	37	7	野菜・果樹等
温風暖房機	1 台	75,000kcal	125	7	野菜
冷蔵庫	1 台	3.3 m <sup>3</sup>	63	7	汎用
養液土耕システム	1 式	基本部材、制御装置等	146	7	いちご、トマト等

【データ提供元】岡山市農業協同組合

### 専門用語の解説

露地栽培	温室等の設備を使わず露天の耕地（田、畑、樹園地）で作物を栽培・収穫する方法。
施設栽培	ガラス室やビニールハウスなどを利用して野菜、花き、果樹などを栽培・収穫する方法。
慣行栽培	世界中で普通一般に行われている栽培方法。 日本では化学肥料、農薬を使い病害虫等の防除を行う栽培方法。
有機無農薬栽培	有機 JAS 規格に定められた栽培方法。有機質肥料（堆肥、菜種糟、酵母等）を使用し、化学肥料や農薬を使用しない（一部使用可能なものもある）。 「おかやま有機無農薬農産物」は、有機 JAS 規格を満たした上で、化学肥料や農薬を一切使わない、独自のより厳しい規格によって岡山県が認証した農産物。
面積	1 町（いっちょう） = 3,000 坪 = 1 ha = 100a = 10,000 m <sup>2</sup> = 100m × 100m 1 反（いったん） = 300 坪 = 10a = 1,000 m <sup>2</sup> 1 畝（ひとせ） = 30 坪 = 1 a = 100 m <sup>2</sup> = 10m × 10m ※東京ドームのフィールド 13,000 m <sup>2</sup> 両翼 100m 中堅 122m

## IV. 【参考2】岡山市の概況

### 概要

岡山市は、歴史的には、古代から吉備文化の発祥地として栄え、市西部には造山古墳をはじめとする多くの史跡が残っています。

中心部には、城下町として栄えたことを伝える岡山城や岡山後楽園などの歴史遺産と近代ビル群、郊外には閑静な田園や中山間地域が広がっており、自然と文化が調和した都市空間を形成しています。

また、瀬戸大橋、岡山空港、山陽自動車道など広域高速交通網の結節点に位置し、中四国地方の中枢拠点都市となっています。平成21年4月には、全国で18番目の政令指定都市に移行しました。



### 自然条件



岡山市は、旭川と吉井川の2本の一級河川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、南部は豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並みが広がっています。

市域の南北が中国山地と四国山地に囲まれていることで、冬の厳しい季節風や台風の勢力が弱められて降雪や強風の影響が比較的少なく、快晴の日が多い、「晴れの国」のキャッチフレーズにふさわしい、瀬戸内海特有の温暖でおだやかな風土に恵まれています。

### 各種データ

面積：789.95 km<sup>2</sup>（北区:450.7 km<sup>2</sup> 中区:51.24 km<sup>2</sup> 東区:160.53 km<sup>2</sup> 南区:127.48 km<sup>2</sup>）

人口：699,596人（北区:294,435人 中区:146,675人 東区:92,430人 南区:166,056人）

※令和5年3月末住民基本台帳

年間平均気温：16.4℃ 年間降水量：839.5mm 年間日照時間：2,251.8時間（観測地点：岡山）

※令和4年「岡山県の気象年報」（岡山地方気象台）

医療機関数：病院：55施設 一般診療所：708施設 歯科診療所：453施設

学校数：保育園：105園 幼稚園：59園 幼保連携型認定こども園 52園

小学校：91校 中学校：44校 中等教育学校：2校 高等学校：26校

※令和4年「岡山市の統計」

就農に関するご相談・お問い合わせは

**岡山市就農サポートセンター** へ

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号(岡山市農林水産課内)

【TEL】086-803-1347 【E-mail】nousui@city.okayama.lg.jp

【HP】<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000016993.html>

